

## 6 特別支援学校

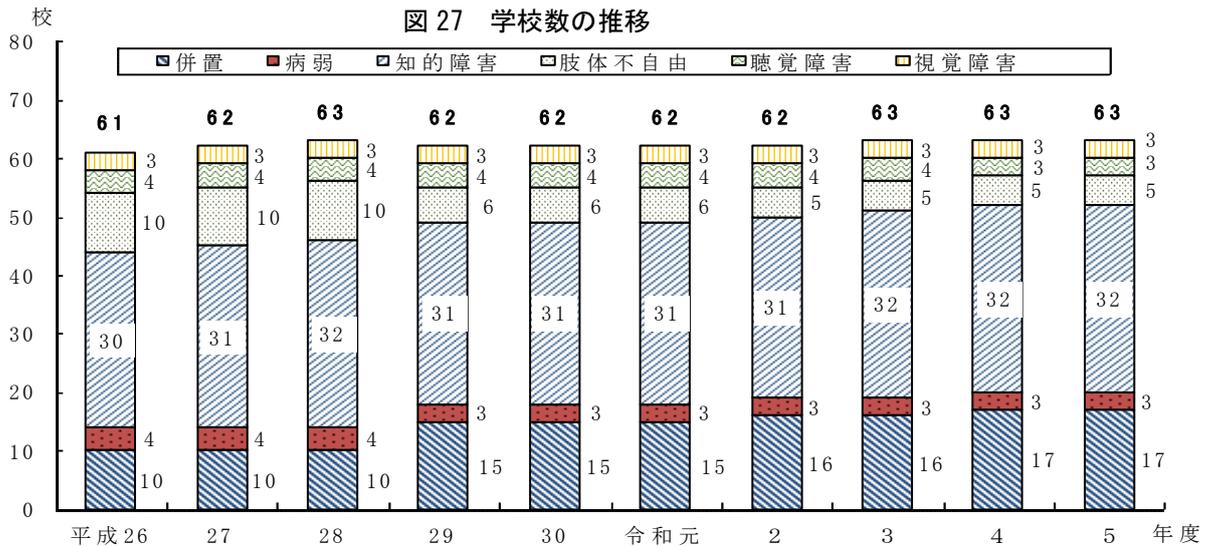
### (1) 学校数

学校数は、63校（都立58校、区立5校）で、前年度と同数である。

学校数のうち障害種別を複数設置している併置校は17校（肢体不自由・知的障害併置校10校、肢体不自由・病弱併置校4校、視覚障害・知的障害併置校1校、知的障害・病弱併置校1校、聴覚障害・知的障害併置校1校）となっている。

併置校以外の学校数を障害種別で見ると、視覚障害3校、聴覚障害3校、肢体不自由5校、知的障害32校、病弱3校となっている。

（Ⅲ統計表 第31表）



注 1) 区立5校の障害種別は、肢体不自由1校、知的障害1校、病弱3校となっている。

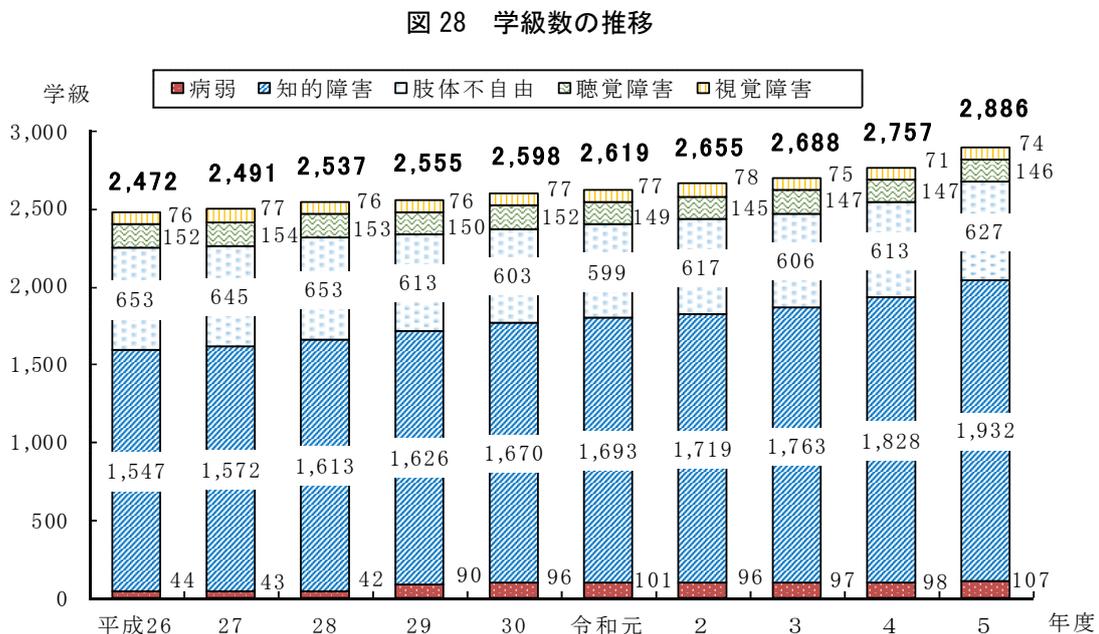
2) 併置校は全て都立である。

### (2) 学級数

学級数は2,886学級で、前年度より129学級増加している。

障害種別で見ると、視覚障害74学級、聴覚障害146学級、肢体不自由627学級（都立612学級、区立15学級）、知的障害1,932学級（都立1,895学級、区立37学級）、病弱107学級（都立91学級、区立16学級）となっている。

（Ⅲ統計表 第31表）



### (3) 在学者数

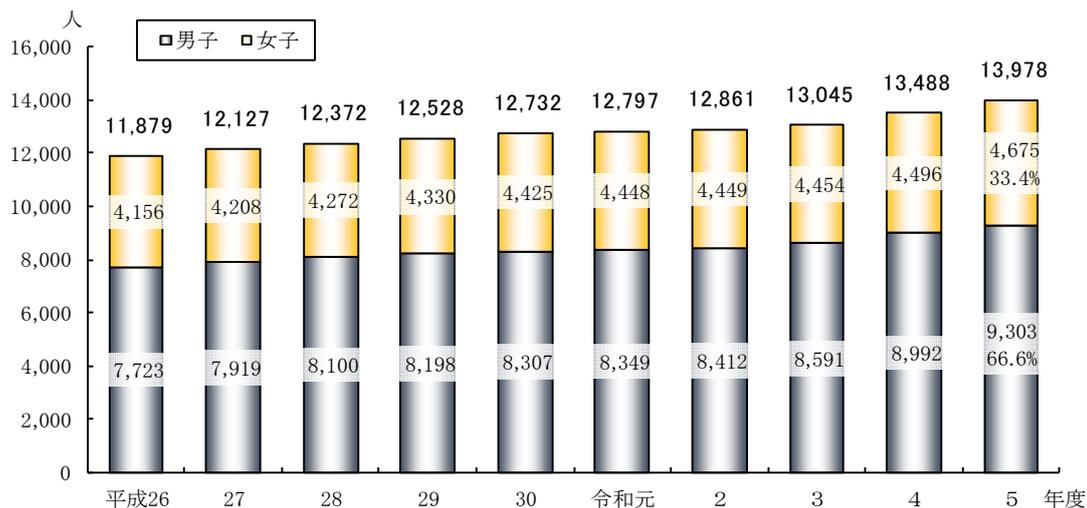
在学者数は13,978人で、前年度より490人増加している。

障害種別で見ると、視覚障害208人、聴覚障害624人、肢体不自由2,098人（都立2,063人、区立35人）、知的障害10,850人（都立10,684人、区立166人）、病弱198人（都立128人、区立70人）となっている。

男女別で見ると、男子9,303人（構成比66.6%）、女子4,675人（構成比33.4%）で、前年度と比べて、男子の構成比が0.1ポイント減少、女子の構成比が0.1ポイント増加している。

（Ⅲ統計表 第31表）

図29 在学者数及び男女別割合の推移



### (4) 教員数

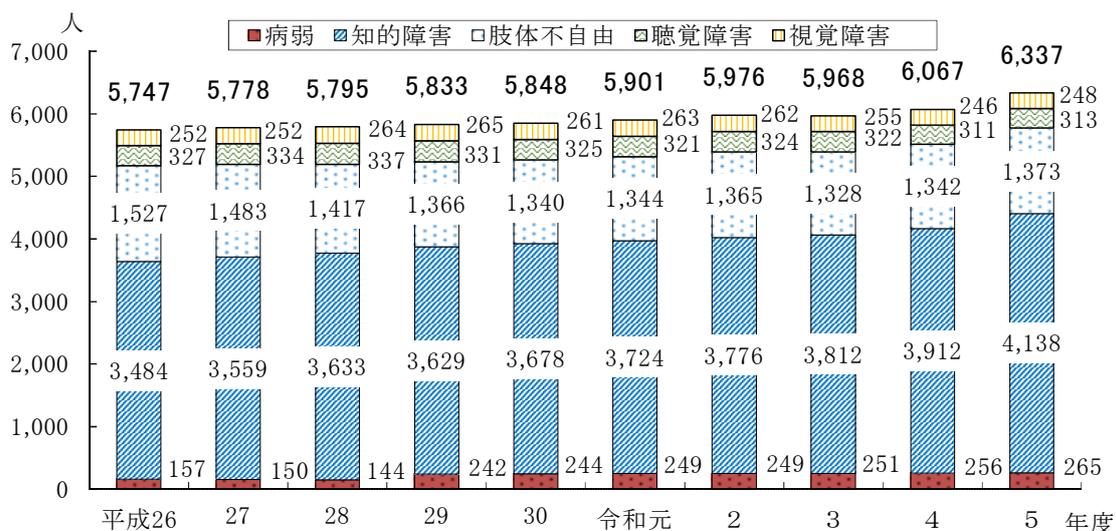
教員数は、6,337人で、前年度より270人増加している。

障害種別で見ると、視覚障害248人、聴覚障害313人、肢体不自由1,373人（都立1,334人、区立39人）、知的障害4,138人（都立4,066人、区立72人）、病弱265人（都立198人、区立67人）となっている。

男女別で見ると、男性2,448人（構成比38.6%）、女性3,889人（構成比61.4%）で、前年度と比べて、男性の構成比が0.1ポイント減少、女性の構成比が0.1ポイント増加している。

（Ⅲ統計表 第32表）

図30 教員数の推移

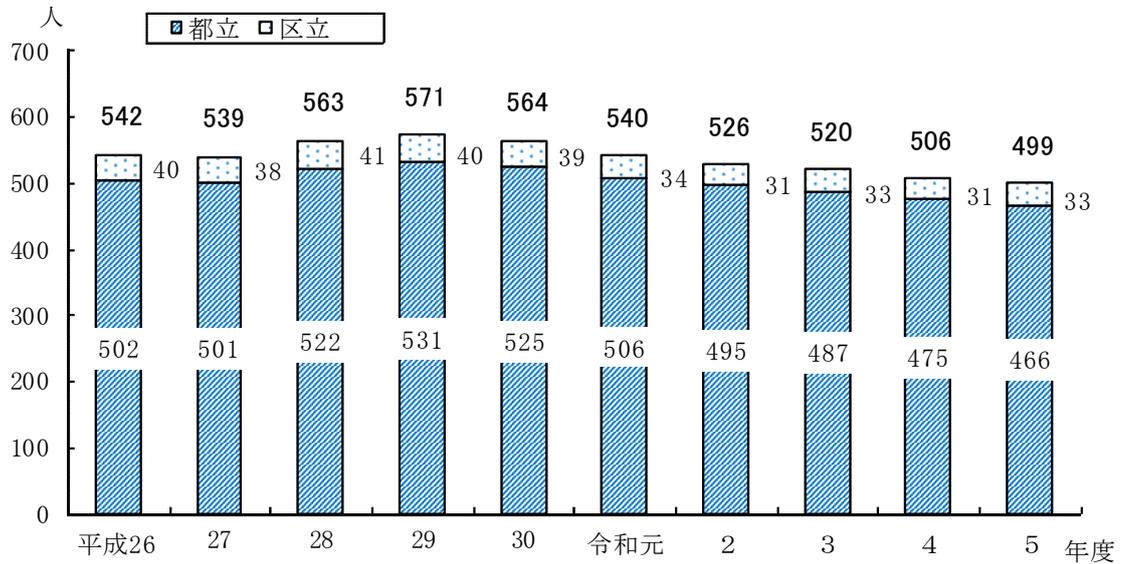


注) 教員数は、臨時的任用教員を含む。

## (5) 職員数

職員数は、499人（都立466人、区立33人）で、前年度より7人減少している。  
 男女別で見ると、男性224人（構成比44.9%）、女性275人（構成比55.1%）で、前年度と比べて、  
 男性の構成比が1.5ポイント減少、女性の構成比が1.5ポイント増加している。  
 （Ⅲ統計表 第33表）

図31 職員数の推移



注) 職員数は、臨時的任用職員を含む。

図32 職員の職名別割合

